

グリーンツーリズムを核とした 佐田岬の活性化へ

●協会の設立

我がまち伊方町は、四国最西端の日本一細長い半島である佐田岬半島に位置している。佐田岬は、その独特の地形と気候風土故、海の幸、山の幸、自然美、歴史文化等さまざまな魅力で溢れており、まさに観光資源の宝庫だ。

ところが、このように観光資源に恵まれた我が町ではあるけれども、これらをマネージメントする機能が存在せず、観光地としてうまく売り出せていないのが現状でもある。そこで多くの人たちに足を運んでいただくために、地域情報の発信や着地型旅行エージェントを担うグリーン・ツーリズム事業を核とした組織「佐田岬ツーリズム協会」を立ち上げるに至った。

私たちがおこなおうとしている「グリーン・ツーリズム」という旅の形は、従来のような観光地や景勝地を見て回るだけの旅行ではなく、何か体験することで経験価値を得ようとする旅、又は地域住民との交流を楽しむ旅である。しかし実際には、まだまだその中身がどのようなも



花と風車

のであるかということがあまり知られておらず、地域住民に浸透しきっていない。私どもは、グリーン・ツーリズムというもの、地域住民が主役となつて盛り上がっていくかなければ成功し得ないと考えているので、この事業を進める上でまずやらなければならぬことは、地域住民に活動の趣旨について知っていただき、理解してもらうことだと考えている。

●ツーリズム大学

今後は、既に活動している住民グループとの協議や、商品化へ向けての活動を行っていくことはもちろん、それと平行して、地域住民にツーリズムに対する知識を深めていただくために、「ツーリズム大学」という普及啓発事業をおこなっていく予定である。この事業の中身は、ツー

佐田岬ツーリズム協会
事務局長
高月 芳人



リズムに興味のある方などに対して、各方面からツーリズムに関する有識者や先進地域で活躍されている方々を招いて講義をしていただいたり、地域住民の皆さんに地域内を歩いてもらい、自分たちの町にどのような観光資源があるのかを調査していただくことによつて、地域をより身近に感じていただいたりするものである。

●協会のこれから

現在NPO法人の登録申請中で、認可が下りるのが11月頃と見込んでおり、その時期に合わせてホームページも公開し、会員情報、観光情報等を発信していく予定である。また、本格的に旅行商品の販売を開始する時期を来年度ははじめに予定している。今年度は商品開発・普及啓発事業を重点的におこない、協会の足場固めをしていきたい。

佐田岬の資源を活かした魅力的なプログラムを開発して、皆さんに感動していただきたいと夢を描いている。